

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和7年6月16日(2025.6.16)

【公開番号】特開2025-15628(P2025-15628A)

【公開日】令和7年1月30日(2025.1.30)

【年通号数】公開公報(特許)2025-018

【出願番号】特願2024-198599(P2024-198599)

【国際特許分類】

A 6 1 K 35/30(2015.01)

10

A 6 1 K 35/36(2015.01)

A 6 1 K 45/00(2006.01)

A 6 1 K 35/12(2015.01)

A 6 1 K 31/7088(2006.01)

A 6 1 K 48/00(2006.01)

A 6 1 K 38/02(2006.01)

A 6 1 K 31/16(2006.01)

A 6 1 K 31/4709(2006.01)

A 6 1 P 43/00(2006.01)

C 1 2 N 5/10(2006.01)

20

C 1 2 N 15/12(2006.01)

C 1 2 Q 1/02(2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/30

A 6 1 K 35/36

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 35/12

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 38/02

30

A 6 1 K 31/16

A 6 1 K 31/4709

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 35/30 Z N A

C 1 2 N 5/10 Z N A

C 1 2 N 15/12

C 1 2 Q 1/02

C 1 2 N 5/10

【手続補正書】

40

【提出日】令和7年6月5日(2025.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

人工多能性幹細胞を哺乳動物非多能性細胞から作製する方法であって、

(a) 該哺乳動物非多能性細胞に、Oct4ポリヌクレオチド、Sox2ポリヌクレオチド、お

50

よびKlf4ポリヌクレオチドを含む1つまたは複数の発現カセットを導入する工程、および(b)工程(a)の細胞とTGF 受容体/ALK5インヒビターおよびGSK-3インヒビターとを接触させる工程であって、それによって人工多能性幹細胞を哺乳動物非多能性細胞から作製する工程、を含む、方法。

【請求項2】

前記細胞とErkインヒビターとを接触させる工程をさらに含む、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記哺乳動物非多能性細胞とヒストン脱アセチル化酵素(HDAC)インヒビターとを接触させる工程をさらに含む、請求項1記載の方法。

10

【請求項4】

前記TGF 受容体/ALK5インヒビターが、A-83-01およびSB431542からなる群より選択される、請求項1記載の方法。

【請求項5】

前記GSK-3インヒビターが、CHIR99021、CHIR98014、および6-プロモインジルビン-3'-オキシム(BIO)からなる群より選択される、請求項1記載の方法。

【請求項6】

前記哺乳動物非多能性細胞を、H3K9メチル化を阻害するかもしくはH3K9脱メチルを促進する作用物質、L型Caチャンネルアゴニスト、cAMP経路のアクチベーター、DNAメチルトランスフェラーゼ(DNMT)インヒビター、または核受容体リガンドのうち少なくとも1つと接触させる工程をさらに含む、請求項1記載の方法。

20

【請求項7】

前記1つまたは複数の発現カセットがc-Mycポリヌクレオチドをさらに含む、請求項1記載の方法。

【請求項8】

前記非多能性細胞が体細胞である、請求項1記載の方法。

【請求項9】

前記体細胞が線維芽細胞である、請求項8記載の方法。

【請求項10】

前記非多能性細胞が前駆細胞である、請求項1記載の方法。

30

【請求項11】

前記前駆細胞が神経前駆細胞、皮膚前駆細胞、または毛包前駆細胞である、請求項10記載の方法。

40

50